

SENJU LIVE WEB SEMINAR in 九州

日時 令和6年 1月30日(火) 19:00~20:00
Zoomウェビナーによる配信

マイボーム腺機能不全の ガイドラインに沿ったMGDの最新治療



演者

有田 玲子 先生

(伊藤医院 眼科 副院長/LIME研究会代表)

ご略歴

1994 京都府立医科大学卒業

2001 京都府立医科大学大学院博士課程修了

2002 慶應義塾大学眼科助手

2005 伊藤医院眼科副院長

2007 東京大学眼科臨床研究員

2011 慶應義塾大学眼科講師(非常勤)

2012 LIME研究会代表

2021日本角膜学会評議員現在に至る

受賞歴

2008 ドライアイリサーチアワード受賞

2016ドライアイ部門最高インパクトファクター賞受賞

海外での活動

2009 国際ドライアイ学会(TFOS) MGDガイドライン国際理事

2012国際ドライアイ学会(TFOS) コンタクトレンズガイドライン国際理事

2017 国際ドライアイ学会(TFOS) ドライアイガイドライン(DEWS II) 国際理事

蒸発亢進型ドライアイ・マイボーム腺機能不全の国際的第一人者として活躍中

「マイボーム腺機能不全のガイドラインに沿ったMGDの最新治療」

2023年2月、日本初のマイボーム腺機能不全診療ガイドラインが策定された。

マイボーム腺機能不全 (Meibomian Gland Dysfunction, MGD) は眼瞼炎の一因であり、蒸発亢進型ドライアイの主因である。日常の一般診療において私たち眼科医が遭遇する最も頻度の高い疾患のひとつだが失明しない疾患でもあり、見過ごされることが多かった。

しかしながらその眼不快感に悩まされる患者は多く、症状も長期にわたる場合が多い。

MGDはここ数年、根本治療ともなりうる治療オプションが複数出現してきたため前眼部の専門家にとってはもちろん、内眼手術後のMGDが術後不満足4割を占めることが明らかになるにつれ眼科サーजनにも治療すべき疾患として国際的に注目を浴びているHOTな疾患である。また昨今のコロナ禍におけるVDT使用時間の増加に伴うMGD患者の増加は明らかで、近年、特に「瞼」に対する重要性が高まっていることは言うまでもない。

本セミナーではマイボーム腺機能不全診療ガイドラインの内容や、実際のMGD患者の臨床例をまじえながらのアジスロマイシン点眼液の最適な適応症例、患者への服薬指導、温罨法やリッドハイジーンなど自宅でできるセルフケア、マイバム圧出、そして世界最先端の話題までの一連を披露し、明日からの臨床に役に立つ今が旬の内容をお届けする。

ZOOMウェビナーご参加方法

本セミナーは、Zoomウェビナーにて配信いたしますので、ZOOMアプリをインストールしたPC、タブレット、スマートフォンにてご視聴いただけます。

ご視聴には事前登録が必要ですので下記URLまたは二次元コードからご登録をお願いいたします。

ご登録方法

- ①お名前とメールアドレス、ご施設名を入力すると登録が完了いたします。
 - ②Zoomより事前登録完了メールが届きます。
 - ③当日は事前登録完了メール、またはリマインドメールに記載の「ここをクリックして参加」をクリック頂き、セミナールームにお入りください。
- ※入力いただきました個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき適切に管理致します。



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_eXo5-OJpTSq7GE5quAnbdw

お問い合わせ

千寿製薬株式会社 九州支店 九州第二グループ

三村 勇人 (mobile : 080-1472-6854 e-mail : h-mimura@senju.co.jp)